

# 宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2  
TEL / FAX 0463-78-9100

2018 4 月



## 常設展示室

## 市民ギャラリーのご案内

入場無料

### 宮永岳彦 本を描く

2017年9月21日(木) ▶ 2018年5月20日(日)

▶◀◀◀ 展示作品より今月の一点 ▶▶▶▶

#### 《遠藤周作著『ヘチマくん』装幀原画》



男女が向かい合う、どこかユーモラスなこの作品は、よく見るとちぎって貼った和紙のような紙の上に、絵の具やインク、カラー

フィルムで色や輪郭をのせています。

遠藤周作はキリスト教を主題とするシリアスで重厚な作品と軽いタッチの小説やエッセイを両立させた作家で、『ヘチマくん』は、底抜けに善良な主人公が、現世主義的な周囲の人々に知らず知らずのうちに影響を与えていくユーモア小説です。

宮永の装幀は、ちぎり絵によってほのぼのとした素朴さや可愛らしさを表現し、人間の弱さや滑稽さを温かく見守った遠藤周作の作風を的確にとらえたものとなっています。

1957年 36.5×52.0cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)  
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

### ◆今月の一冊◆

石坂洋次郎は戦後、朝日新聞に連載した『青い山脈』が大ヒットし「百万人の作家」と呼ばれる流行作家になりました。『陽のあたる坂道』は、個性的な登場人物と濃密なストーリー構成で彼の最高傑作との呼び声も高く、映画化3回、ドラマ化2回、宝塚による舞台化もされました。

宮永は石坂の『霧の中の少女』の装幀も手がけています(書籍を展示中)。



石坂洋次郎『陽のあたる坂道』(新潮社) 制作年不明

4月の休館日：2日(月) 9日(月) 16日(月) 23日(月)

### みなせ写真同好会 みなせ・丹沢合同写真展

4月3日(火)～4月8日(日)

10:00～17:00 (初日 13:00 から 最終日 15:00 まで)

2年前に自分達で立ち上げた2つの教室の展示会です。お互いに研鑽した最高な仲間達の写真を見に来てください。

### 秦野美術協会 第2回 絵画部小品展

4月24日(火)～4月30日(月・祝)

10:00～17:00 (初日 13:00 から 最終日 15:00 まで)

会員一人一点の秀作、油彩、水彩、日本画、アクリル画等多彩な表現の40点を発表します。是非ご覧ください。

### 2018.5月の市民ギャラリー展示会の予定

秦野スケッチ会(仮)

5月2日(水)～5月6日(日)

四人の写真展 ころろに残る風景(仮)

5月8日(火)～5月13日(日)

地球・絵手紙ネットグループ ネット秦野(仮)

5月16日(水)～5月20日(日)

写楽クラブ(仮)

5月24日(木)～5月31日(木)

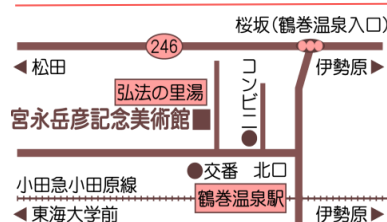
※4月1日(日)より2018年10月分までの予約を受け付けています。

### 宮永岳彦と小田急ロマンスカー



小田急ロマンスカーの初代、SE車がデビューしたのは今から61年前の1957(昭和32)年のことでした。低重心のボディにパーミリオンオレンジとシルバーの斬新な配色、美しい流線型のシルエットは当時の人々の度肝を抜いたといえます。

このカラーリングを手がけたのが宮永です。今年3月17日に新型ロマンスカーGSEが運転を開始しましたが、その側面には伝統の「パーミリオンオレンジ」の帯があしらわれ、宮永のセンスが今も息づいているのが感じられます。



### 美術館へのアクセス

- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台  
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641